

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 教育施設費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせる。学習に有効な情報機器の選定導入を進める。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	1,014,000	1,052,856	1,134,433	1,471,905
決算	1,008,110	1,045,778	1,118,854	
人件費(A)	3,500	5,600	5,600	7,700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,011,610	1,051,378	1,124,454	1,479,605

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人)	人	3.6	目標	8.6	8.02	5.48	4
			実績	8.75	8.01	7.92	
			目標				
			実績				
			目標				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせる。学習に有効な情報機器の選定導入を進める。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	進んでいる
学習に有効な情報機器(タブレット、実物投影機)の導入を進めた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校情報技術環境整備事業		○	○		1,479,605	1,471,905	1.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,479,605	1,471,905	1.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

◇事業目的・事業対象

教育委員会と市立小中学校を結んだ浜松市教育ネットワークを利用し、学校管理運営システムの運用による事務の効率化を図り、ネットワーク環境を維持するために、浜松市教育ネットワークセンター及び通信回線の保守・管理を行う。また小中学校の教育情報機器等の整備を行う。

◇事業の概要

- ・学校管理運営システムの運用
学校管理運営システム(文書管理、支出管理、備品管理)を活用し、事務処理の効率化を図るとともに、利用時の運用支援を行う。
- ・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。
- ・図書管理システム、教育情報機器等の更新
新規導入から6～7年経過する図書管理システムやパソコン等情報機器を更新する。
- ・ICT環境整備
平成28年度の情報機器(タブレット、実物投影機)の導入に伴い、実物投影機を継続して市内小中学校に配備していくとともに、タブレットの導入方法について検討する。
【重点戦略項目No.36】情報教育の充実

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,014,000	1,052,856	1,134,433	1,471,905
	決算	1,008,110	1,045,778	1,118,854	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,008,110	1,045,778	1,118,854	1,471,905
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		3,500	5,600	5,600	7,700
人工	正規	0.5	0.8	0.8	1.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人)				-		36
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	8.6	8.02	5.48	4	4	3.6
実績値	8.75	8.01	7.92			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・学校管理運営システムの運用
学校管理運営システム(文書管理、支出管理、備品管理)を活用し、事務処理の効率化を図るとともに、利用時の運用支援を行う。

・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。

・図書管理システム、教育情報機器等の更新
新規導入から6~7年経過する図書管理システムやパソコン等情報機器を更新する。

・ICT環境整備
学習に有効な情報機器(タブレット、実物投影機)の導入を進める。

【重点戦略項目No.36】情報教育の充実

・事業の成果と課題

指標の達成度

学校管理運営システム(文書管理、支出管理、備品管理、図書管理)を活用した事務処理を行い、教職員の利用時の運用支援を行うとともに、浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校及び幼稚園のインターネット環境を常に正常な状態に保った。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

学習に有効な情報機器(タブレット、実物投影機)の導入を進めた。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

ネットワークや情報システムを良好に維持するため、必要な環境の改善を進める。

補助シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
36	—	$(43,266+20,999) \text{人} \div (5,294+2,132+600) \text{台} = 8.01 \text{人/台}$ ※H28.5時点の人数(小学生+中学生)÷(H29.3時点のパソコン室+普通教室+H28導入タブレット端末)	$(43,081+20,777) \text{人} \div (5,249+2,216+600) \text{台} = 7.92 \text{人/台}$ ※H29.5時点の人数(小学生+中学生)÷(H29.9時点のパソコン室+普通教室+H28導入タブレット端末)	$(43,016+20,172) \text{人} \div (5,249+2,216+600) \text{台} = 7.83 \text{人/台}$ ※H30.4時点の推計人数(小学生+中学生)÷H29.9時点のパソコン室+普通教室+H28導入タブレット端末)

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 小学校管理費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の実態に努める。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	528,400	255,500	248,615	293,694
決算	526,653	255,072	245,958	
人件費(A)	5,600	2,800	2,800	2,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	532,253	257,872	248,758	296,494

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)	%	90	目標	90	90	90	90
			実績	100	100	99	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の実態に努める。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	授業用教材教具導入事業					296,494	293,694	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						296,494	293,694	0.4				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 授業用教材教具導入事業

◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立小学校(96校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・算数の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	528,400	255,500	248,615	293,694
	決算	526,653	255,072	245,958	
	国・県支出	2,836	2,849	2,896	2,850
	市債				
	その他				
	一般財源	523,817	252,223	243,062	290,844
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,600	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.8	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
整備基準に基づく機器導入と、学校で必要とする物品の購入(年間達成率)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	90	90	90	90		90
実績値	100	100	99			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・算数の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

授業用教材教具の充実を図るため、教材備品の整備、図書の購入等に要する経費を執行した。
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

理科教育設備整備

教師用教科書、指導書等の購入

学級増等に伴う机・椅子等の購入 ほか

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

必要な物品を適正に供給することは今後ますます求められるが、限られた予算でいかに最大成果を上げるかが今後の課題である。

より良い教育活動が行えるよう、効率的かつ適正な物品供給をするため、教材等の採択部門である指導課及び学校とのコミュニティーを強化する。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 中学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の本整備に努める。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	154,695	305,700	149,744	153,970
決算	153,286	304,911	147,883	
人件費(A)	4,900	2,800	2,800	2,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	158,186	307,711	150,683	156,770

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)	%	90	目標	90	90	90	90
			実績	100	100	99	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の本整備に努める。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	授業用教材教具導入事業					156,770	153,970	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						156,770	153,970	0.4				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 授業用教材教具導入事業

◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立中学校(49校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	154,695	305,700	149,744	153,970
	決算	153,286	304,911	147,883	
	国・県支出	1,542	1,599	1,436	1,600
	市債				
	その他				
	一般財源	151,744	303,312	146,447	152,370
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,900	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.7	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
整備基準に基づく機器導入と、学校で必要とする物品の購入(年間達成率)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	90	90	90	90		90
実績値	100	100	99			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の充実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

授業用教材教具の充実を図るため、教材備品の整備、図書の購入等に要する経費を執行した。
学校で必要とする備品、物品の購入を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

理科教育設備整備

教師用教科書、指導書等の購入

学級増等に伴う机・椅子等の購入 ほか

今後の方向性

大項目 改善 小項目 その他 / 事業費 拡大 人工 現状

必要な物品を適正に供給することは今後ますます求められるが、限られた予算でいかに最大成果を上げるかが今後の課題である。

より良い教育活動が行えるよう、効率的かつ適正な物品供給をするため、教材等の採択部門である指導課及び学校とのコミュニティーを強化する。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

小学校教諭の英語指導力の向上

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	7,280	1,453	7,659	7,543
決算	6,684	1,378	6,275	
人件費(A)	700	700	700	700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,384	2,078	6,975	8,243

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
小学校教諭の海外派遣総数	人	80	目標	32	48	64	80
			実績	32	32	48	
			目標				
			実績				
			目標				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

小学校教諭の英語指導力の向上

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

小学校教諭の英語指導力の向上を図るため、平成29年度16人を海外派遣し、計画通り実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	小学校教諭英語指導力向上事業		○	○		8,243	7,543	0.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						8,243	7,543	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 小学校教諭英語指導力向上事業

◇事業目的・事業対象

英語留学を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、小学校教諭の英語授業指導力の向上を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.35】

・小学校教諭16人を約4週間、英語留学のため、マレーシア(サンウエイ大学等)へ派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	7,280	1,453	7,659	7,543
	決算	6,684	1,378	6,275	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	6,684	1,378	6,275	7,543
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
小学校教諭の海外派遣総数(人)				-		35
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	32	48	64	80		80
実績値	32	32	48			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.35】

・小学校教諭16人を約4週間、英語留学のため、マレーシア(サンウエイ大学等)へ派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

小学校教諭の英語指導力の向上を図るため、平成29年度16人を海外派遣し、計画通り実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

小学校教諭16人を、平成29年7月27日から8月24日の期間、元英国領であるマレーシア(サンウエイ大学等)へ派遣した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 事業費 現状 人工 現状

派遣研修に参加した小学校教諭の報告等を踏まえ、研修内容の見直しを図っていく。

平成30年度

(管理番号)
02 02 02 04 005105000 01

(担当課)
教職員課

(責任者)
宮崎 正

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 小学校教諭英語指導力向上事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
35	海外派遣16人	派遣先の治安悪化により中止	海外派遣16人	海外派遣16人

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

- ・英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- ・理数教育の充実を図る。
- ・道徳教育の充実を図る。
- ・文化芸術に親しみ、体験する機会を設ける。
- ・部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励する。
- ・中学生の三遠南信交流を進める。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	242,029	259,585	264,738	269,284
決算	229,850	240,758	252,953	
人件費(A)	13,300	12,600	14,000	14,000
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	243,150	253,358	266,953	283,284

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
児童生徒1人当たりのALTの活用時間(時間)	時間	中35時間小35時間	目標	中学校31時間、小学校12時間	中学校31時間、小学校12時間	中学校31時間、小学校12時間	中学校31時間、小学校12時間
			実績	中学校28時間、小学校12時間	中学校31時間、小学校12時間	中学校31時間、小学校12時間	
理科支援員の活用率(%)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
はままつマナーの活用率(%)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- ・理数教育の充実を図る。
- ・道徳教育の充実を図る。
- ・文化芸術に親しみ、体験する機会を設ける。
- ・部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励する。
- ・中学生の三遠南信交流を進める。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・英語指導力の向上と授業の充実を図った。
 - ・理数教育の充実を図った。
 - ・道徳教育の充実を図った。
 - ・文化芸術に親しみ、体験する機会を設けた。
 - ・部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励した。
 - ・中学生の三遠南信交流を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	心の教育推進事業	○		○	○							
2	(新規)道徳教育総合支援事業					3,963	2,563	0.2				
3	生きた英語力育成事業		○	○		183,923	181,123	0.4				
4	理科・ものづくり教育支援事業 (負担金)					5,200	4,500	0.1				
5	理科支援員配置事業			○		35,827	34,427	0.2				
6	音楽等発表会開催事業					10,870	8,770	0.3				
7	部活動等推進事業					36,044	33,244	0.4				
8	三遠南信交流推進事業					2,057	657	0.2				
9	やらまいか教育推進事業					5,400	4,000	0.2				
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						283,284	269,284	2.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 心の教育推進事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 小中学校が、「心の耕し」をキーワードに小学校・中学校の連軸性を踏まえて教育活動を進めるとともに、家庭・地域にも働きかけ、「心の耕し」が広がることを通して、浜松の子どもに豊かな心を育む。
 【事業対象】 市立全中学校区

◇事業の概要

中学校区を単位とし、子供たちが夢と希望を持って社会を生き抜く力を身に付けながら自分らしさを磨く心の教育を推進するため、「はままつマナー」の作成と中学校区単位の心の教育活動を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22		一般会計	自治事務(その他)	心の教育推進協議会実施要項	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	18,159	16,648	19,193	
	決算	17,836	16,323	16,742	
	国・県支出	3,318	2,527	3,060	
	市債				
	その他				
	一般財源	14,518	13,796	13,682	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	
人工	正規	0.2	0.2	0.2	
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No		
はままつマナーの活用率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36		
目標値	100	100	100					
実績値	100	100	100					
「二分の一成人式」「立志式」の実施率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36		
目標値	100	100	100					
実績値	100	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No		
自分のふるさとが好きだと答える子どもの割合(%)								
年度	H27		H28		H29	H30	H31	H36
目標値	小95	中94	小97	中98	小97	中98		
実績値	小94.9	中95.7	小95	中96	小97.6	中97.6		
主な事業活動・事業成果 指標(単位)								
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36		
目標値								
実績値								

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

中学校区を単位とし、子供たちが夢と希望を持って社会を生き抜く力を身に付けながら自分らしさを磨く心の教育を推進するため、「はままつマナー」の作成と中学校区単位の心の教育活動を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・心の教育推進協議会を2回開催した。
- ・「はままつマナー」の冊子及び啓発用カレンダー、クリアファイルを作成した。
- ・市立全中学校区の心の教育推進協議会に事業を委託し、二分の一成人式や立志式、地域合同コンサート等を開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・「はままつづくり教育推進協議会」を「心の教育推進協議会」に改称するとともに、協議会が事業主体となって子供たちが夢と希望を持って社会を生き抜く力を身に付けながら自分らしさを磨く心の教育を推進した。
- ・「はままつマナー」の冊子及び啓発用カレンダー、クリアファイルを作成し、はままつマナーの啓発を行った。
- ・道徳教育総合支援事業と学校特色化推進事業に事業再編する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

行財政改革の取り組み (事業名) 心の教育推進事業

◇取組概要

本事業について、事業効果発現の観点から、道徳教育総合支援事業と学校特色化推進事業に事業再編する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	事業再編による削減経費(千円)	計画値			2,716	2,716
		実績値				
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)		加算			2,716	2,716

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) (新規) 道徳教育総合支援事業

◇事業目的・事業対象

子供たちが夢や希望を持って、社会を生き抜く力を身につけながら自分らしさを磨く心の教育を進めるため、道徳教育の推進及び「はままつマナー」を啓発していく。

◇事業の概要

- ・道徳教育パワーアップ研究協議会を開催する。
- ・「はままつマナー」を啓発する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H30		一般会計	自治事務 (その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算				2563
	決算				
	国・県支出				
	市債				
	その他				2563
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)					1400
人工	正規				0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
はままつマナーの活用率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値				100		
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

平成30年度新規事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成30年度新規事業

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工
平成30年度新規事業

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

事業シート (事業名) 生きた英語力育成事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 英語の授業を通して、児童生徒の言語や外国の文化に対する理解を深める。英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小学生・中学生・高校生を対象に、外国語指導助手(ALT)を活用した授業を実施する。
 【事業対象】 市立小・中学校、市立高等学校

◇事業の概要

【重点戦略項目No.35】
 英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学生及び高校生を対象に外国語指導助手(ALT)を活用した授業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62		一般会計	自治事務(その他)	語学指導等を行う外国青年招致事業実施要綱	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	135,920	152,980	155,479	181,123
	決算	131,517	140,547	153,666	
	国・県支出				
	市債				
	その他	2,246	2,303	1,816	1,992
	一般財源	129,271	138,244	151,850	179,131
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,200	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.6	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
児童1人あたりのALT活用時間数(時間)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	12	12	12	16		35
実績値	12	12	12			
生徒1人あたりのALT活用時間数(時間)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	31	31	31	32		35
実績値	28	31	31			
英語指導力向上研修を受講した教員が在籍する学校の割合(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	25	50	75	100		100
実績値	33	50	75			
ALTの人数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	47	47	47	75		
実績値	47	47	47			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.35】

英語を通して児童生徒の言語や外国文化への理解を深めるとともに、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るため、小中学生及び高校生を対象に外国語指導助手(ALT)を活用した授業を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

外国人指導助手(ALT)、国際交流員(CIR)を配置するとともに、ALTによる英語授業を実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 非常勤・再任用 / 一部委託 事業費 現状 人工 現状

・外国人指導助手(ALT)について、直接雇用者(非常勤職員)と民間委託のそれぞれの特性を考慮して配置し、児童生徒に英語力の向上を図った。

・不要となった公舎3室を返還した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / 統合・再構築 事業費 拡大 人工 現状

・ALTの配置について、学校や児童生徒の実情に合わせた直接雇用者と民間委託との適正配置を進める。

・ALTの研修の充実を図り、ALTの質的向上を図る。

・新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校外国語科、外国語活動の授業の充実を図る。

補助シート (事業名) 生きた英語力育成事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
35	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。(受講者 100人)

事業シート (事業名) 理科・ものづくり教育支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域支援ネットワーク「浜松RAIN房」の活動を支援する。
 【事業対象】 市内小中学校及び関係市民団体

◇事業の概要

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援するため、負担金を支出する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23		一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	4,500	4,500	4,500	4,500
	決算	4,500	4,500	4,157	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	4,500	4,500	4,157	4,500
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
理科・ものづくりプログラムの小中学校への提供回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	50	50	50		50
実績値	50	50	50			
小中学校の教員を対象とした理科・ものづくり研修の回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	10	10	10		10
実績値	10	10	10			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

静岡大学と連携し、地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援するため、負担金を支出した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援し、理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松RAIN房の活動状況に応じて、負担金を見直していく。

事業シート (事業名) 理科支援員配置事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科支援員を浜松市立小学校に配置・活用することにより、理科の授業における観察・実験活動の充実を図る。
 【事業対象】 市立小学校

◇事業の概要

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	35,005	34,483	34,427	34,427
	決算	34,074	33,462	33,028	
	国・県支出	10,311	9,947	9,947	10,981
	市債				
	その他				
	一般財源	23,763	23,515	23,081	23,446
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
理科支援員の活用率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

理科支援員コーディネーターを指導課に配置するとともに、理科支援員を市立小学校全校に配置した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーター(1人)を指導課に配置し、理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

理科授業における観察・実験活動の充実及び教員の授業力向上を図るため、市立全小学校に理科支援員を配置するとともに、理科支援員コーディネーターを指導課に配置する。

事業シート (事業名) 音楽等発表会開催事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 児童生徒が文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努める。
 【事業対象】 市立小・中学校

◇事業の概要

将来にわたって音楽を楽しむ資質を育てる場として、中学生を対象に音響設備が整っている施設で音楽発表会を開催するとともに、各小中学校の学年団や音楽部が、発表や鑑賞を行う研究発表会を開催した。また、児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発と振興を図るため、展覧会を開催した。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12		一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	13,984	16,747	16,714	8,770
	決算	11,943	14,762	14,221	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	11,943	14,762	14,221	8,770
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	2,100	2,100	2,100	2,100
	正規	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
音楽発表会の実施率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

将来にわたって音楽を楽しむ資質を育てる場として、中学生を対象に音響設備が整っている施設で音楽発表会を開催するとともに、各小中学校の学年団や音楽部が、発表や鑑賞を行う研究発表会を開催した。また、児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発と振興を図るため、展覧会を開催した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市立全中学校が3年で一巡できるよう、音響設備が整っている施設での音楽発表会を開催した。
- ・小中学校の学年団、音楽部等の発表や鑑賞を行う研究発表会を開催した。
- ・児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発や振興のために市展の開催、優秀作品の表彰を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

音楽発表会開催時のバス借上げが観光シーズンと重複するため、事業の一部を学校特色化推進事業に事業再編する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

音楽発表会や作品展示の会場を確保するとともに、移動に必要なバスの確保方法を検討していく。

事業シート (事業名) 部活動等推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会・全国大会等へ出場する児童・生徒を対象に激励金を交付するとともに、各種文化・スポーツ大会の効果的な運営を支援する。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】
 児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。
 【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】
 小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S33		一般会計	自治事務(その他)	市スポーツ大会・音楽コンクール等出場激励金交付要綱、交付金要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	33,712	32,015	31,496	33,244
	決算	29,391	29,115	28,610	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	29,391	29,115	28,610	33,244
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,100	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.3	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
小・中体連及び小・中体連の対象事業参加率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】

児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に奨励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰した。

【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】

小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【文化・スポーツ活動奨励事業】

児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に奨励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒に表彰状を授与した。

【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】

小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

東海大会以上の文化・スポーツ大会へ出場する児童生徒を奨励する。
大会実施経費の負担軽減のため、事業支援をする。

事業シート (事業名) 三遠南信交流推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 三遠南信地域の飯田市、豊橋市、浜松市の中学生の交流や飯田市及び豊橋市の教員の受入交流によって、視野や見識を広める。
 【事業対象】 市内中学校

◇事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の交流を推進するため、夏休みを利用して中学生及び教員の交流活動を実施した。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5			自治事務(その他)	三遠南信(飯田・豊橋・浜松)中学生交流会実施要項	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	749	2,212	929	657
	決算	589	2,049	763	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	589	2,049	763	657
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市内中学校の交流参加率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の交流を推進するため、夏休みを利用して中学生及び教員の交流活動を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

飯田市・豊橋市・浜松市の中学生及び教員の交流等を実施した。
・3市の中学生代表が、夏休みに1泊2日で浜松市で交流を行った。
・飯田市及び豊橋市の教員と研修を通じて交流を深めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・交流活動を通して飯田市と豊橋市の中学生や教員との交流が深められた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成30年度は豊橋市で開催する。

事業シート (事業名) やらまいか教育推進事業

◇事業目的・事業対象

起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を通して、浜松市の良さや強みを生かした教育を推進するとともに、本市を支え、活躍する人材を育成する。

◇事業の概要

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29		一般会計	自治事務 (その他)	やらまいか教育推進事業実施要項			

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			2,000	4,000
	決算			1,766	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他			1,766	4,000
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)			1,400	1,400
	正規			0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
やらまいか教育推進事業を実施する学校数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			10	20		
実績値			10			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜松市立小中学校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

浜松市立小中学校10校が行う起業家教育や郷土愛の醸成のための活動を支援した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・実施校の拡大を図るとともに、活動を周知していく。
- ・実施校での事業効果を検証していく必要がある。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 小学校健康安全費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	741,681	698,938	728,324	776,635
決算	730,071	687,437	718,596	
人件費(A)	15,400	15,400	15,400	14,000
報酬(B)	98,589	98,070	96,163	96,688
年間経費(予算又は決算+A+B)	844,060	800,907	830,159	887,323

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
肥満傾向・栄養不良率	%	3.0	目標	3.9	3.7	3.6	3.4
			実績	3.95	2.86	2.5	
給食満足度率(自校方式、小学校)	%	95	目標	93	93	93	93
			実績	93.2	91.9	92	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	達成
<ul style="list-style-type: none"> 法令に基づき、尿検査・寄生虫卵検査・運動器検診・心臓疾患検査を全小学校で実施した。 学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。 平成29年度は新規に小学校1校の給食調理の業務委託を行い、合計で自校方式の小学校67校中41校を民間委託化した。 児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	児童健康診断事業					131,132	31,644	0.4			96,688
2	小学校給食事業			○		756,191	744,991	1.2			1.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						887,323	776,635	1.6			1.0 96,688

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 児童健康診断事業

◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、小学校児童に対し健康診断を行い、児童の健康の保持増進を図る。

◇事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	34,651	34,346	31,654	31,644
	決算	34,140	34,056	31,409	
	国・県支出		23	24	19
	市債				
	その他				
	一般財源	34,140	34,033	31,385	31,625
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		98,589	98,070	96,163	96,688
人件費 (千円)		2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
肥満傾向・栄養不良率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.9	3.7	3.6	3.4		3.0
実績値	3.95	2.86	2.5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・寄生虫卵検査(1～3学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

・事業の成果と課題

指標の達成度

定期健康診断を実施し、健康診断結果を保護者へ通知するとともに、肥満傾向や栄養不良の児童については、生活指導や保健指導を等行った。今後も疾病異常の早期発見と健康状態を正しく把握し、対応を行っていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・法で定められた検査については、適正に実施していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

児童の日頃の健康管理、早期の疾患発見・治療を行うことで、児童の健康で明るい学校生活、円滑な教育活動が推進される。本事業の果たす役割は大きく、継続して実施していく。

事業シート (事業名) 小学校給食事業

◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、児童の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して、正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、小学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・第3次食育推進基本計画に基づき、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	707,030	664,592	696,670	744,991
	決算	695,931	653,381	687,187	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等)(千円)	その他				
	一般財源	695,931	653,381	687,187	744,991
	一般会計繰入金				
人工	人件費(千円)	12,600	12,600	12,600	11,200
	正規	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.5	1.5	1.5	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
給食満足度率(自校方式、小学校)(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	93	93	93	93		95
実績値	93.2	91.9	92			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、小学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・給食の時間において、栄養教諭等が食に関する指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・給食満足度では、自校方式の小学校で実施。目標値93%に対し、実績値が92%で目標に達しなかった。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。
- ・H28年度、全ての調理場において浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得し、更なる衛生管理の徹底に努めた。
- ・1小学校の調理業務の民間委託化を行った。これにより、自校方式小学校67校中41校で委託化された。
- ・浜松市産特別栽培米「やらみか」は7年目、浜松市産茶葉を使用した紙パック茶は6年目となった。子供たちに地場産物への関心を高めるとともに、良さを感じさせるよい機会となった。
- ・児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度は、1小学校の調理業務民間委託化を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・行政経営計画に基づいて民間委託を実施を予定している。
- ・今後の学校給食のあり方について検討していく。
- ・給食員減予定(=不補充)人員は、正規(小中学校合計)9人。平成30年度末の小学校(自公方式)給食調理業務民間委託は、42調理場とする。(平成30年度は1校を民間委託化)

行財政改革の取り組み (事業名) 小学校給食事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充、小中学校自校方式の統合など、学校給食調理業務民間委託による事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5003
 取組事項名 学校給食調理業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	学校給食調理業務民間委託数 (調理場)	計画値	1	0	2	1
		実績値	1	0	1	
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)		累積	22,957	22,957	23,885	53,537
						123,336

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》
 平成29年度から、新たに1調理場(きずな給食方式1校)での学校給食調理業務の民間委託化を開始した。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 中学校健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	317,821	328,551	316,066	349,922
決算	310,493	319,338	311,127	
人件費(A)	15,400	15,400	15,400	14,000
報酬(B)	48,716	48,570	48,401	48,709
年間経費(予算又は決算+A+B)	374,609	383,308	374,928	412,631

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
肥満傾向・栄養不良率	%	2.8	目標	3.3	3.2	3.1	3.1
			実績	3.1	3.5	2.7	
給食満足度率(自校方式、中学校)	%	90	目標	85	85	89	89
			実績	83.7	88.4	88.3	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 達成

- 法令に基づき、尿検査・運動器検診・心臓疾患検査を全中学校で実施した。
- 学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。
- 平成28年度は新規に中学校1校の給食調理の業務委託を行い、合計で自校方式の中学校35校中18校を民間委託化した。
- 生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	生徒健康診断事業					69,071	17,562	0.4			48,709
2	中学校給食事業			○		343,560	332,360	1.2			1.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						412,631	349,922	1.6			1.0 48,709

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生徒健康診断事業

◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、中学生徒に対し健康診断を行い、生徒の健康の保持増進を図る。

◇事業の概要

法令に基づき、下記3項目を実施する。
 ・尿検査(全学年)
 ・運動器検診(全学年)
 ・心臓疾患検査(1年生)
 その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	18,424	18,227	17,863	17,562
	決算	17,735	17,518	17,315	
	国・県支出		28	21	18
	市債				
	その他				
	一般財源	17,735	17,490	17,294	17,544
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		48,716	48,570	48,401	48,709
人件費 (千円)		2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
肥満傾向・栄養不良率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.3	3.2	3.1	3.1		2.8
実績値	3.1	3.5	2.7			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・運動器検診(全学年)
- ・心臓疾患検査(1年生)

その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

定期健康診断を実施し、健康診断結果を保護者へ通知するとともに、肥満傾向や栄養不良の生徒については、生活指導や保健指導を等行った。今後も疾病異常の早期発見と健康状態を正しく把握し、対応を行っていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・法で定められた検査については、適正に実施していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

生徒の日頃の健康管理、早期の疾患発見・治療を行うことで、生徒の健康で明るい学校生活、円滑な教育活動が推進される。本事業の果たす役割は大きく、継続して実施していく。

事業シート (事業名) 中学校給食事業

◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
- ・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
- ・地産地消の推進に向け、中学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。
- ・第3次食育推進基本計画に基づき、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	299,397	310,324	298,203	332,360
	決算	292,758	301,820	293,812	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	292,758	301,820	293,812	332,360
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等)(千円)				
人件費(千円)		12,600	12,600	12,600	11,200
人工	正規	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.5	1.5	1.5	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
給食満足度率(自校方式、中学校)(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	85	85	89	89		90
実績値	83.7	88.4	88.3			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。

・行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。

・地産地消の推進に向け、中学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。

・給食の時間において、栄養教諭等が食に関する指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・給食満足度では、自校方式の中学校で実施。目標値89%に対し、実績値が88.3%で目標に達しなかった。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。

・H28年度、全ての調理場において浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得し、更なる衛生管理の徹底に努めた。

・1中学校の調理業務の民間委託化を行った。これにより、自校方式中学校35校中18校で委託化された。

・浜松市産特別栽培米「やら米か」は7年目、浜松市産茶葉を使用した紙パック茶は6年目となった。子供たちに地場産物への関心を高めるとともに、良さを感じさせるよい機会となった。

・児童に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度は、1中学校の調理業務の民間委託化を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も行政経営計画に基づいて民間委託を実施する。

・給食員減予定(=不補充)人員は、正規(小中学校合計)5人。平成30年度末の中学校(自公方式)給食調理業務民間委託 37調理場とする。(平成30年度は1校を民間委託化)

行財政改革の取り組み (事業名) 中学校給食事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充、小中学校自校方式の統合など、学校給食調理業務民間委託による事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5003
 取組事項名 学校給食調理業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	学校給食調理業務民間委託数 (調理場)	計画値	1	1	0	1
		実績値	1	1	1	
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)		累積	23,106	36,768	55,528	78,180
						193,582

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》
 平成29年度から新たに1調理場(自公方式1校)での学校給食調理業務の民間委託を開始した。

政策シート (政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 健康安全費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	1,222,307	1,243,421	1,302,254	1,369,788
決算	1,204,887	1,220,995	1,280,635	
人件費(A)	54,600	54,600	54,600	50,400
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,259,487	1,275,595	1,335,235	1,420,188

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
給食満足度率(センター方式)	%	90	目標	85	85	88	89
			実績	84.3	88	89.9	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 達成

- 学校給食費の改定に伴い、安全安心でバランスの取れた給食水準を維持し、子供にとって魅力ある学校給食の提供に努めた。
- 児童生徒に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることを目的とし、栄養教諭等が、給食の時間に食に関する指導を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校給食センター事業					1,420,188	1,369,788	6.0			3.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,420,188	1,369,788	6.0			3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校給食センター事業

◇事業目的・事業対象

共同調理場において安全・安心でおいしい給食を提供していくことで、児童・生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

- ・学校給食食材購入事業
安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。
- ・学校給食センター管理運営事業
給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,222,307	1,243,421	1,302,254	1,369,788
	決算	1,204,887	1,220,995	1,280,635	
	国・県支出				
	市債				
	その他	728,779	735,073	788,243	813,000
	一般財源	476,108	485,922	492,392	556,788
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		54,600	54,600	54,600	50,400
人工	正規	7.0	7.0	7.0	6.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	2.0	2.0	2.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
給食満足度率(センター方式)(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	85	85	88	89		90
実績値	84.3	88	89.9			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校給食食材購入事業

- ・安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。

学校給食センター管理運営事業

- ・給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・センター方式による学校給食を運営することで、学校給食を効率的に実施。給食満足度では、センター方式の小中学校で実施し、小中学校の平均で目標値88%に対し、実績値が89.9%で目標以上の結果となった。今後も安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めていく。
- ・H28年度、全ての給食センターにおいて浜松市HACCP型衛生管理認証制度(レベル3)の認証を取得し、更なる衛生管理の徹底に努めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

全ての学校給食センターで民間委託化になっている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

給食を円滑に実施するための維持管理と給食センターの良好な環境を維持する。

平成30年度

(管理番号)
02 02 02 08 005117000 01

(担当課)
健康安全課

(責任者)
花嶋 徳光

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 学校給食センター事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充、小中学校自校方式の統合など、学校給食調理業務民間委託による事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5003

取組事項名 学校給食調理業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	学校給食調理業務民間委託数 (調理場)	計画値 1	0	0	0	1(累計)
		実績値 1	0	0		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)		累積	-11,286	-11,286	-11,286	-11,286
						-45,144

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 達成》

平成27年度から新たに1給食センターでの給食調理業務の民間委託を開始し、5学校給食センター全てで民間委託化した。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 健康安全費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。 すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	111,853	108,911	116,460	123,322
決算	105,656	103,984	110,731	
人件費(A)	72,800	72,800	72,800	72,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	178,456	176,784	183,531	196,122

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
防災ノート活用率	%	100	目標	作成(~H29)	作成(~H29)	作成(~H29)	95
			実績	作成	作成	作成	
教職員の普通救命講習修了証の取得率	%	100	目標	65	73	80	85
			実績	69	75	83.6	
給食満足度率(総括)	%	90	目標	88	88	89	89
			実績	87.4	89.9	90.3	

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	進んでいる
<ul style="list-style-type: none"> 学校保健については、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、就学時健康診断、学校環境衛生検査、学校保健指導を行った。 学校安全については、児童生徒の安全を確保するため、通学路整備事業の充実、学校防災サポート事業等を実施した。 学校給食については、栄養教諭・学校栄養職員・調理主任等の衛生管理、安全管理、アレルギー対応及び調理実技について研修会を実施した。また、児童生徒の静岡茶の愛飲を促進するため、粉末茶を提供した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校保健衛生事業					50,957	34,857	2.3			
2	学校安全事業			○		24,569	9,869	1.7			1.0
3	日本スポーツ振興センター災害 共済事業					64,158	61,358				1.0
4	健康安全運営経費					56,438	17,238	5.6			
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						196,122	123,322	9.6			2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校保健衛生事業

◇事業目的・事業対象

小中学校の保健衛生環境を維持し、児童、生徒が学校生活を安全で快適なものとする。
 学校保健会の活動を支援することで、学校における健康教育並びに健康管理の充実を図る。

◇事業の概要

- ・就学時健康診断⇒就学予定者に、就学時健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
- ・学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
- ・学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
- ・学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
- ・学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S33	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	34,113	32,692	32,085	34,857
	決算	31,042	29,090	29,328	
	国・県支出				
	市債				
	その他		69	69	69
	一般財源	31,042	29,021	29,259	34,788
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		16,100	16,100	16,100	16,100
人工	正規	2.3	2.3	2.3	2.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
就学時健康診断受診率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
教職員を対象とした学校保健に関する研修会の実施率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・就学時健康診断⇒就学予定者に、就学時健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
- ・学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
- ・学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
- ・学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
- ・学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・学校環境衛生検査、保健指導、学校における結核対策、学校保健会事業、就学時健康診断を実施した。
- ・学校保健会の課題等を踏まえ、学校保健活動推進事業の運営方法の見直しを図った。
- ・学校保健に関する指導をととして、健康意識の啓発を図った。
- ・結核は、児童生徒や学校にとって、健康上及び教育上重要な課題であることから、対策・指導を行った。
- ・健康診断の的確な実施と事後措置の研究、学校保健委員会活動の推進等を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校保健会による学校保健活動推進事業について、子供たちの健康を守るための事業を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

就学時健康診断や結核検診、飲料水やプール水の検査を定期的実施することにより、学校生活における児童生徒の安全管理が維持されており、法的にも実施しなければならないものであるため、今後も専門機関に委託しながら実施していく。

事業シート (事業名) 学校安全事業

◇事業目的・事業対象

学校安全(災害安全・生活安全・交通安全)について、学校と教育委員会との連携を更に進めるため、危機管理を総括する機能の充実を図る。特に学校防災については、地域との連携を深め、子どもの命を守る安全対策の確立を図る。

◇事業の概要

学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。

(1) 災害安全事業

・学校における防災教育・防災管理の充実を図るため、浜松市版防災ノートの作成や学校防災リーダー育成研修、学校防災サポート事業を推進する。

(2) 生活安全事業

・地域との連携を図り、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。

(3) 交通安全事業

・通学路の安全対策の整備を進めるとともに、交通安全教育推進モデル小学校事業、交通安全リーダーと語る会等の交通安全教育の充実を図る。

・警察、交通安全協会との連携を深め、子供の交通安全意識の高揚を図り、保護者への啓発も充実する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務(その他)	学校保健安全法、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施要項	—		○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	7,512	7,110	12,626	9,869
	決算	6,294	6,834	10,529	
	国・県支出	1,953	1,774	1,949	2,210
	市債				
	その他				
	一般財源	4,341	5,060	8,580	7,659
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		14,700	14,700	14,700	14,700
人工	正規	1.7	1.7	1.7	1.7
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
防災ノート活用率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	作成(~H29)	作成(~H29)	作成(~H29)	95		100
実績値	作成	作成	作成			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
教職員の普通救命講習修了証の取得率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	65	73	80	85		100
実績値	69	75	83.6			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。

- (1)災害安全事業
 - ・子供たちの自助力、共助力の育成を図るため、学校防災プロジェクト事業を推進する。
- (2)生活安全事業
 - ・地域との連携を図り、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。
- (3)交通安全事業
 - ・通学路の安全対策の整備を進めるとともに、交通安全教育推進モデル小学校事業、交通安全リーダーと語る会等の交通安全教育の充実を図る。
 - ・警察、交通安全協会との連携を深め、子どもの交通安全意識の高揚を図り、保護者への啓発も充実する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)災害安全事業
 - ・防災教育、防災管理の充実を図るため、学校防災リーダー育成研修や防災有識者を派遣する学校防災サポート事業等を行った。また、平成30年度からの浜松市版防災ノートの活用に向け、内容等の検討を行った。
- (2)生活安全事業
 - ・スクールガードリーダー20人を96小学校に配置し、校区内を定期的に巡回したことにより子供の安全を図ることができた。
 - ・学校の危機管理体制の充実を図る一助として、平成28年度に作成した危機管理マニュアル(生活安全編)を一部見直しを行った。
- (3)交通安全事業
 - ・交通安全教育推進モデル小学校の活動及び交通安全リーダーと語る会を実施したことにより、交通事故防止と交通安全活動の推進を図ることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

各事業を計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松市版防災ノートを活用した防災教育を実施していく。
- ・学校防災における課題をもつ学校に対し、防災有識者等を派遣することをおして、子供の命を守るための具体策を検討し、学校の防災教育の充実と防災管理の強化を図っていく。

事業シート (事業名) 日本スポーツ振興センター災害共済事業

◇事業目的・事業対象

独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を締結することにより、市立小・中学校、高等学校の管理下における児童、生徒の災害(負傷、疾病、障害、又は死亡)について必要な給付を行い、学校教育の円滑な実施を図る。

◇事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

【共済掛金】

- ・(平成29年度現行)義務教育諸学校=945円、市立高校=1,865円
- ※内、市負担分:義務教育諸学校=485円、市立高校=355円
(要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S35	—	一般会計	自治事務(その他)	独立行政法人日本スポーツ振興センター法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	62,839	62,399	61,901	61,358
	決算	62,720	62,180	61,901	
	国・県支出				
	市債				
	その他	29,809	29,430	29,199	28,736
	一般財源	32,911	32,750	32,702	32,622
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		2,800	2,800	2,800	2,800
人工	正規				
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
加入率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

【共済掛金】

- ・〈平成29年度現行〉義務教育諸学校＝945円、市立高校＝1,865円
- ※内、市負担分：義務教育諸学校＝485円、市立高校＝355円
(要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・加入率(100%)＝平成29年度年間加入者数(65,339人)

【平成28年度医療費(負傷・疾病)給付状況】

- 小学校(5,109件 28,981,306円)
- 中学校(5,956件 39,361,739円)
- 高等学校(262件 2,622,112円)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、加入・支給事務を行い、児童生徒や保護者、学校の救済に寄与した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

学校運営を円滑に進めるため、学校管理下における児童生徒の災害に際し、迅速かつ適切に対応行うことが必要であり、センターの共済制度は有効であることから、今後も継続していく。

事業シート (事業名) 健康安全運営経費

◇事業目的・事業対象

保健給食課業務の運営を円滑に進めるとともに、学校給食従事者に対し研修会等を行うことにより、充実した学校給食の運営と学校給食従事者の資質向上(調理技術・衛生管理)を図る。

◇事業の概要

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 保健給食課業務を円滑に実施するための諸経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
—	—	一般会計	自治事務(その他)		—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	7,389	6,710	9,848	17,238
	決算	5,600	5,880	8,973	
	国・県支出			3,157	10,478
	市債				
	その他				
	一般財源	5,600	5,880	5,816	6,760
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		39,200	39,200	39,200	39,200
人工	正規	5.6	5.6	5.6	5.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
給食満足度率(総括)(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	88	88	89	89		90
実績値	87.4	89.9	90.3			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 保健給食課業務を円滑に実施するための諸経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・小中学校に配備のAEDについて良好な管理を行うことができた。また、教職員を対象に、救急蘇生講座を実施し、学校の安全性をより一層高めることができた。
- ・学校給食指導事業については、衛生管理の徹底、安全安心でおいしい給食を提供できるよう、学校給食従事者を対象に研修会を開催した。
- ・児童生徒が、浜松茶を飲む機会及び児童生徒に対する浜松茶の食育の機会を確保するため、浜松産茶葉を使用した粉末茶を提供した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

保健給食課業務の運営を円滑に進めることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

安全安心な教育環境づくりの推進のために必要な事務事業を実施していく上で必要な諸経費であり、現状のまま継続していく。

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 学童等災害共済事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	6,200	6,100	6,000	6,000
決算	5,577	4,514	5,041	
人件費(A)	4,200	4,200	4,200	4,200
報酬(B)	212	212	124	212
年間経費(予算又は決算+A+B)	9,989	8,926	9,365	10,412

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
加入率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

義務教育諸学校に在籍する児童生徒が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中又は委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給するため、災害の認定・見舞金の支給を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学童等災害共済事業					10,412	6,000	0.2			1.0	212
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						10,412	6,000	0.2			1.0	212

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学童等災害共済事業

◇事業目的・事業対象

学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与する。

◇事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。
 なお、共済会費として1人90円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	—	特別会計	自治事務(その他)	浜松市学童等災害共済条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	6,200	6,100	6,000	6,000
	決算	5,577	4,514	5,041	
	国・県支出				
	市債				
	その他	40	10		5
	一般財源	2,298	1,285	1,835	2,749
	一般会計繰入金	3,239	3,219	3,206	3,246
人件費(報酬等) (千円)		212	212	124	212
人件費 (千円)		4,200	4,200	4,200	4,200
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
加入率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。
 なお、共済会費として1人90円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・加入率(100%)＝平成29年度年間加入者数(66,606人)

【平成28年度傷害見舞金、障害見舞金支給状況】

小・中学校(711件 3,999,800円)

・治療の経過観察などにより、災害発生から給付金請求までに期間が開いてしまう場合がある。請求もれがないよう学校等との連携を密にしていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

義務教育諸学校に在籍する児童生徒が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中又は委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給するため、災害の認定・見舞金の支給を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も学校や保護者のニーズにあった共済事業を実施していく。
 ・制度改正の必要性について検討していく。